

長野県革新懇記念講演会

象徴天皇制の行方を考える

— 明仁天皇の人生をふりかえりつつ —

講師 **瀬畑 源** 氏

長野県短期大学准教授

経歴

1976年東京都生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。一橋大学大学院社会学研究科特任講師を経て長野県短期大学准教授。一橋大学博士(社会学)。日本近現代政治史専攻。著書に『公文書をつかう 公文書管理制度と歴史研究』(青弓社)、共著に『国家と秘密 隠される公文書』(集英社新書)。共編著に『平成の天皇制とは何か 制度と個人のはざままで』(岩波書店)。今年2月に『公文書問題 日本の「闇」の核心』(集英社新書)を刊行。



10月27日(土)

■ **13:30-16:00**

■ **高校教育会館**

長野市県町 593

駐車場は限られていますので、ご注意ください

■ **資料代 500円**

平成の明仁天皇が来年4月30日に退位します。憲法第1条で「日本の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く」とされている象徴天皇制について、この機会に考えてみたいと思います。

講師は、象徴天皇制を研究テーマとしている瀬畑源さんです。興味深いお話が聴けるはずです。

連絡先 日本と信州の明日をひらく県民懇話会 (長野県革新懇)

長野市県町 593 ☎ 026-234-1231 fax: 026-234-2219 メール: 県革新懇 HP から送信